

Ⅱ 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネー※² 保有・利用世帯の割合は共に過去最高

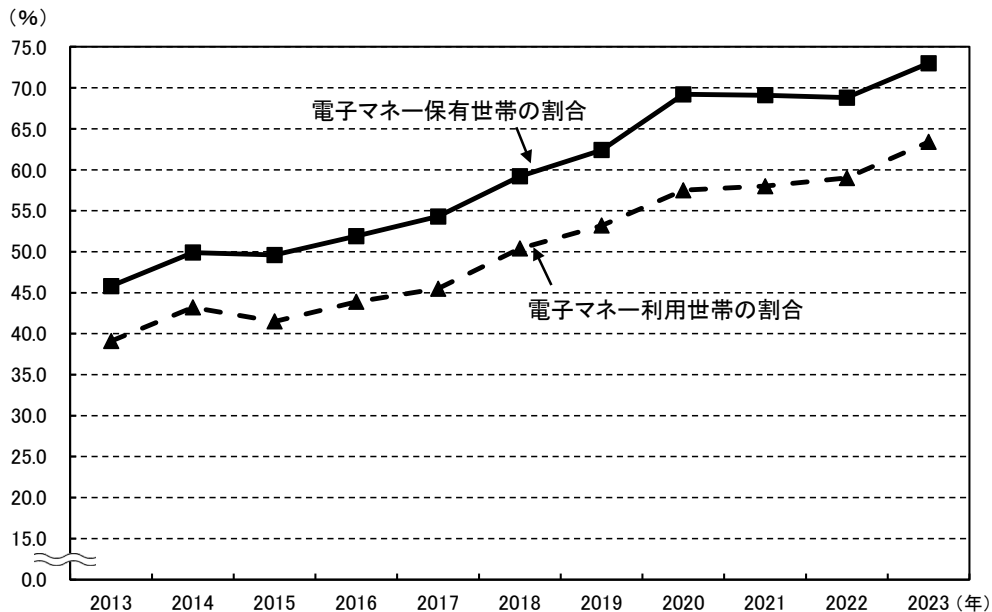
2023 年の二人以上の世帯における電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は 73.0%と、前年に比べ 4.2 ポイントの上昇となり、過去最高となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は 63.4%と、電子マネー保有世帯の割合と連動し、前年に比べ 4.4 ポイントの上昇となり、同じく過去最高となった（表Ⅱ－１、図Ⅱ－１）。

表Ⅱ－１ 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯(%)	電子マネー 利用世帯(%)
2013年	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5
2018	59.2	50.4
2019	62.4	53.2
2020	69.2	57.5
2021	69.1	58.0
2022	68.8	59.0
2023	73.0	63.4

図Ⅱ－１ 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※2 この調査での「電子マネー」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたＩＣカードやプリペイドカード等（次の例を参照）をいう。

例) Suica、ICOCA、PASMO、nanaco、WAON、楽天 Edy、WebMoney、BitCash、クオカードなど
 なお、デビットカードや、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスは含まない。
 また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等も含まない。

2 電子マネー利用世帯の割合は、世帯主が40歳代の世帯で最も高い

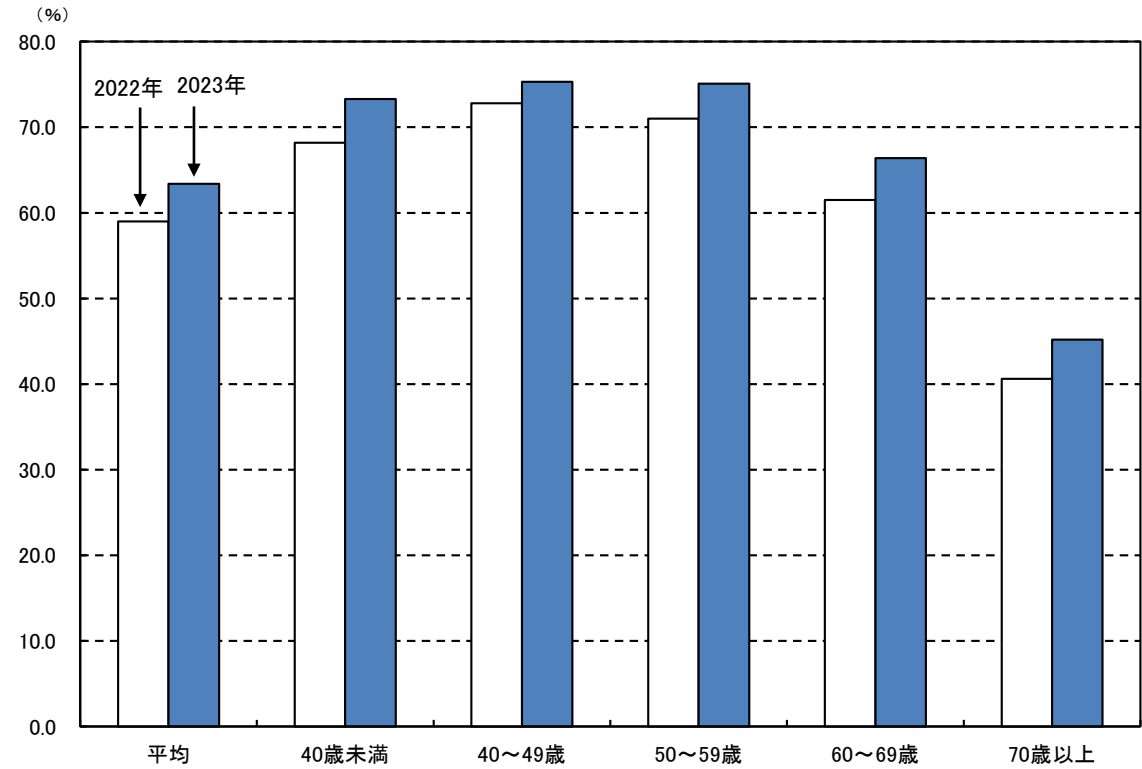
2023年の二人以上の世帯における電子マネー利用世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が75.3%と最も高く、次いで50～59歳（75.1%）、40歳未満（73.3%）などとなった。

前年と比べてみると、40歳未満が5.1ポイントの上昇、次いで60～69歳が4.9ポイントの上昇となるなど、全ての年齢階級で上昇となった（表Ⅱ－2、図Ⅱ－2）。

表Ⅱ－2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
割合(%)						
2022年	59.0	68.2	72.8	71.0	61.5	40.6
2023年	63.4	73.3	75.3	75.1	66.4	45.2
対前年増減(ポイント)						
2023年	4.4	5.1	2.5	4.1	4.9	4.6

図Ⅱ－2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合（二人以上の世帯）



3 電子マネー利用金額は増加

2023 年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額は、1 か月平均 30,282 円で、前年に比べ名目 7.0%の増加となった。これは物価上昇分^注を上回る結果となっている。

内訳の推移をみると、2023 年の鉄道及びバスの利用金額は 1 か月平均 4,059 円と、前年に比べ 11.9%増加となった。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行などにより、外出機会が増加したことが要因と考えられる。

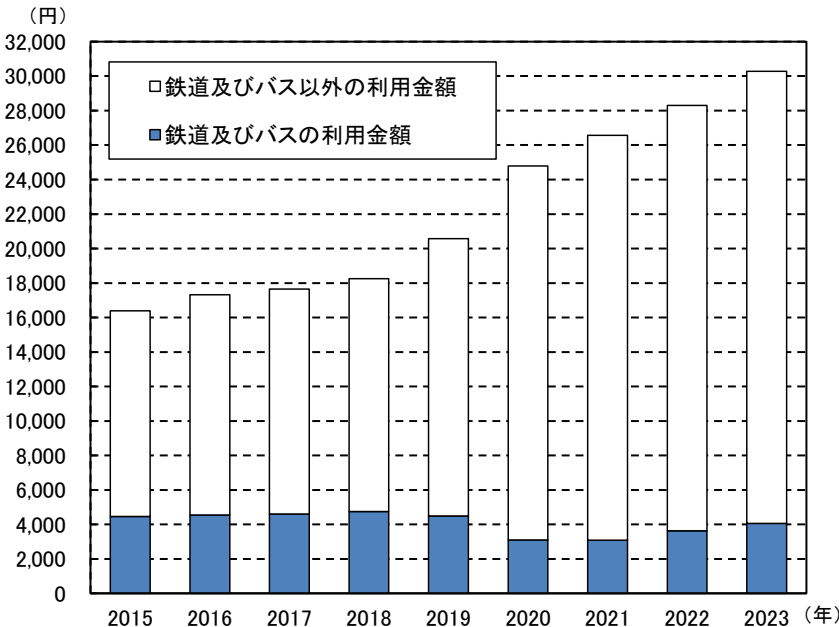
また、物価の上昇や新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まる前の 2019 年頃から、鉄道及びバス以外の利用金額が年々増加している状況がうかがえる。2023 年は、鉄道及びバス以外の利用金額は 1 か月平均 26,223 円と、前年に比べ 6.3%増加となった（表Ⅱ－3、図Ⅱ－3）。

注「消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）」の 2023 年の前年比は+3.8%

表Ⅱ－3 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	鉄道及びバスの利用金額(円)	鉄道及びバス以外の利用金額(円)	平均利用金額に占める 鉄道及びバスの 利用金額割合(%)
2015年	16,382	4,468	11,914	27.3
2016	17,318	4,553	12,765	26.3
2017	17,644	4,603	13,041	26.1
2018	18,256	4,746	13,510	26.0
2019	20,567	4,487	16,080	21.8
2020	24,790	3,098	21,692	12.5
2021	26,568	3,088	23,480	11.6
2022	28,295	3,627	24,668	12.8
2023	30,282	4,059	26,223	13.4
2023年の対前年 名目増減率(%) 及び対前年増減 (ポイント)	7.0	11.9	6.3	0.6

図Ⅱ－3 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）



4 電子マネー利用金額は、世帯主が40歳代の世帯で最も増加率が高い

2023年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が1か月平均32,195円で最も多く、次いで50～59歳（31,142円）、60～69歳（31,125円）などとなった。

前年と比べてみると、40～49歳が15.8%の増加、次いで70歳以上が6.7%の増加となるなど、40歳未満を除く各年齢階級で増加となった（表Ⅱ－4、図Ⅱ－4）。

表Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2022年	28,295	28,186	27,810	29,667	29,393	26,191
2023年	30,282	27,985	32,195	31,142	31,125	27,937
対前年名目増減率(%)						
2023年	7.0	-0.7	15.8	5.0	5.9	6.7

図Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

